

学科 学年	全学科 1年	科目 分類	地 理 Geography	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 A	担当	佐藤崇徳 SATO Takanori
概 要	本講義は、地表面に展開するさまざまな自然的・人文社会的事象を科学的にとらえ、その地域的特色を理解することによって、現代の国際社会に生きていく資質を養うことを目的とする。本講義では、自然地理学・人文地理学および地誌学に関するいくつかの事柄を取り上げて学習することを通して、地理的な見方・考え方を培っていく。授業では地図作業などの活動も適宜取り入れる。							
科目目標 (到達目標)	地形学、気候学の意義および基礎的事項を理解する。 人文地理学（とくに経済地理学、人口地理学）の意義および基礎的事項を理解する。 スイスおよびインドに関する事例学習を通して、地誌的な地域のとらえ方を理解する。							
教科書 器材等	『地理B』（東京書籍）、『高等地図帳』（二宮書店）、『データブック オブ ザ ワールド 2004年版』（二宮書店）、1:25000地形図「三島」、1:50000地形図「沼津」、このほか適宜プリントを配布する。							
評価の基準と 方法	定期試験の成績累計（80%）および地図作業・レポートなどの課題の提出状況（20%）により評価する。							
関連科目	なし							
授業計画								
第 1回	オリエンテーション、地理と地図							
第 2回	地形を学ぶにあたって、地形を学ぶとは 火山の例							
第 3回	地形図から地形を読む							
第 4回	地形と土地利用景観、勾配							
第 5回	世界の大地形とプレートテクトニクス							
第 6回	日本付近のプレートテクトニクスと地震							
第 7回	活断層と地震防災							
第 8回	【定期試験】							
第 9回	平野の地形について考える手がかり							
第10回	河川の堆積作用によってできた地形							
第11回	海岸の地形、海面の高さの相対的变化と地形							
第12回	第四紀の環境変遷と地形発達							
第13回	気候のとらえ方、気候要素、大気の大循環							
第14回	気候の特徴をつかむ、世界の気候区分							
第15回	【定期試験】							
第16回	産業の立地、チューネンの農業立地論							
第17回	現代における農業立地							
第18回	ウェーバーの工業立地論							
第19回	現代における工業立地（1）							
第20回	現代における工業立地（2）							
第21回	世界の人口、人口構成							
第22回	世界人口の増加とその背景							
第23回	発展途上国における人口問題と先進国における人口問題							
第24回	【定期試験】							
第25回	スイスの人々の生活と文化（1）							
第26回	スイスの人々の生活と文化（2）							
第27回	インドの人々の生活と文化（1）							
第28回	インドの人々の生活と文化（2）							
第29回	地域をとらえる 地理的な見方・考え方とは							
第30回	【定期試験】							
オフィス アワー	第1回の授業（オリエンテーション）において案内する。							
授業アンケート への対応	質問番号3・4についての評価が低かった点について：工業高等専門学校で教養として地理を学ぶことの意義を授業において従来以上に強調していく予定。							
備 考	関連情報のURL http://user.numazu-ct.ac.jp/~tsato/class/							